

特定非営利活動法人ミライのとびら

放課後等デイサービスにおける 支援プログラムの公表



令和7年3月1日作成

【法人理念】

子どもたちと生涯よりそえる施設をつくる

【支援方針】

**運動や体験活動を通して「できた！」という気持ち
を大切に 一緒に喜びあえる笑顔あふれるサービ
スを提供します**

【主な活動内容】

① 運動プログラム

② 衛生プログラム

③ 個別支援プログラム

④ おやつ、食育プログラム

⑤ 体験活動・イベントプログラム

令和6年度の報酬改正において「5領域を含めた総合的な支援を提供すること」が基本となりました

健康・生活

心身の健康や生活に関する領域

運動・感覚

運動や感覚に関する領域

認知・行動

認知と行動に関する領域

言語
コミュニケーション

言語コミュニケーションに関する領域

人間関係
社会性

人との関わりに関する領域

健康・生活

食事・整容・排泄・着脱・準備/片付けに関するプログラムを実施

- ・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得
(食事、排泄、着替えのサポート)
- ・身だしなみの整え方
- ・危機認知スキルの向上(疑似体験・映像・SST)
- ・食育(菜園体験・おやつ作り)
- ・定期的な運動による健康的な体作り

◎食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身につけられるよう、時間での誘導や声かけを行います。

◎1日の流れやイベントの説明などは視覚支援を用いるなど、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援します。

運動・感覚

【粗大運動】姿勢・移動・体づくり・ジャンプ・ボールに関するプログラムを実施

【微細運動】つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・はめる・とおす・はる・ぬる・こする・描く・切るに関するプログラムを実施

【体育】体ほぐし運動・多様な動きを作る運動・マット・跳び箱・鉄棒・走の運動・跳の運動に関するプログラムを実施

- ・感覚の特性への対応(特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作)リズム遊び、感覚教材、散歩、季節の制作、いろいろな道具の使い方等
- ・姿勢や運動、基本的、応用的動作能力の向上トランポリン、サーキット、マット運動、ビジョントレーニング、コーディネーショントレーニング等

◎粗大運動（体づくり、ジャンプ、ボール遊び等）や微細運動（つかむ、ひっぱる、はめる等）を通して基本的な動作の向上を目指します。

◎感覚過敏な子ども達へに配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行います。

◎イベント等を通して五感を刺激できるような活動を提供します。

認知・行動

身体部位・色・比較・位置・分類・
感情概念・時間概念・数・四則演
算・図形に関するプログラムを実施

・小集団での活動や遊びのなかで、適切な
行動を習得する（認知の偏りに配慮する）
・空間、時間、数の概念など認知発達を促
す環境設定(スケジュールや時間の視覚化)

- ◎色や数字など様々な興味関心の幅を広げられるよう活動を提供します。
- ◎子ども達が認知、解釈しやすいように環境を整え、安心した気持ちで過ごすことができるよう支援します。
- ◎絵カードや実物での視覚的な支援（スケジュール掲示）や50音表、時計やタイマーを使用した支援を行い、子ども達に事前予告や1日の流れを伝えます。
- ◎個別支援の時間を活用し、プリント学習や軽作業など支援を行い、認知能力の向上をサポートします。
- ◎学習、運動、体験活動とスケジュールに沿ったサービスを提供する中で、個別活動や集団参加、場面や活動の切り替え、見通しやスケジュール管理など自己管理の力を高められるよう支援します。

言語 コミュニケーション

文字を読む・文字を書く・文章を表現する・事実の読み取り・行動のコントロール・感情のコントロールに関するプログラムを実施

- ・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ・読み・書きに対する学習支援
- ・コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会の提供・ロールプレイ)

- ◎絵カードやホワイトボードを使用したり、ジェスチャーなどのサインを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。
- ◎自分で選択する機会を作り、自分の思いを相手に伝えられる機会を作ります。
- ◎支援者が間に入りながら、活動を通して他者とのやり取りが経験できる場を提供します。

人間関係 社会性

集団スキル・学校生活・地域生活・社会的スキルに関するプログラムを実施

- ・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ
- ・社会体験や地域交流の場を設ける
- ・自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別療育)

- ・集団での活動を通して、ルールや順番を守りながら他者と楽しい時間を過ごせよう支援します。
- ・子ども達の思いに寄り添った声掛けや支援を行います。
- ・他者と適切な距離感を保てるよう声掛けを行い、良好な関係を気付けるよう支援します。

家族支援

送迎時に随時情報共有をするとともに、必要に応じて個別の面談や参観する場を設け、ご家族の不安や困りごとへの相談援助を行います。

観察の機会提供や①から④などの個々の子どもに関する事項、支援内容と意図に関する説明/相談/助言などを実施

①児童の発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等

④集団生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等

家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所にて対面で実施

◎指導後のフィードバックや保護者面談、ご家族の方向けのトレーニングを通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認

◎お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う

◎保護者懇親会や、ご利用時の参観など、保護者同士の交流や相談の機会を提供します。

移行支援

インクルージョンに向けた取組の推進

- ①事業所で支援し、習得した行動を学校、ご家庭などで同様に役立てられるよう将来を見据えた支援を実施
- ②インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園やイベントなどを活用し、地域資源を活かして生活する力をつける
- ③保育所や学校、就労先等への訪問や会議等への参加、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施

- ・ 具体的な移行先との調整、相談援助、連携
- ・ 学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加・適応する力を養う

◎学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的な支援を行えるよう環境作りを行います。また、保育所との連携や支援の構築など、同年代の子どもたちとの仲間づくり等の支援を行います。

地域支援 地域連携

- ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用先との情報共有

イベントへの参加や公共施設（公園等）を活用を通して、地域との交流する機会を提供します。
また、地域生活に関する保健・医療・福祉・教育等の関係機関、障害福祉サービス事業所等との連携を行います。

職員の質向上にむけた取り組み

- 事業所内研修
 - ・虐待防止（身体拘束）に関する研修
 - ・事故防止に関する研修
 - ・感染症予防に関する研修
 - ・防災に関する研修
- 外部研修
 - ・外部の研修に参加し、知識の向上や支援スキルの向上
- その他
 - ・障害理解に繋がる資格取得を支援（強度行動障害者養成研修等）
 - ・オンラインやeラーニング、動画研修など

全職員向け研修 年1回以上実施

①虐待防止（身体拘束）に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④防犯に関する研修 ⑤災害に関する研修

主な行事等

- ①季節の行事に関するイベント（初詣、夏祭り、色水遊び、ハロウィンパーティーなど）
- ②体験活動（ブラッシュアート、プラネタリウム作り、スライム作り、畑作業など）
- ③外出活動（公園、水族館、博物館、ボーリングなど）

◎季節に合わせて体験活動を実施する他、製作活動やおやつ作り、懇親会や野外活動など、子供が楽しめるよう企画しています。

◎長期休みや祝日などは、公園遊びや外出の機会を増やすなど、飽きが来ないようなプログラムを考え提供しています。